

新たな道を切り開いて 青森で生きる

私 は三沢市で生まれ育ち、大学卒業後、仙台市内にあるITベンチャー企業でエンジニアとして働いていました。

大手プロバイダのサーバの運営・管理など、何十万人、何百万人をサポートする仕事はやりがいがありましたが、数年が経つうちに不特定多数の知らない人たちにサービスを提供するよりも、顔の見える人たちに喜んでもらいたいという思いが強くなっていました。

そんな矢先、2011年3月に起きた東日本大震災。このことを機に、家族の大切さ、ふるさとへの愛情を再認識しました。「震災後、大きな変化を迎えている東北の中で、今こそふるさと青森に貢献したい!」、そんな思いから2012年4月、三沢市にUターンし起業しました。

まずはチャレンジ! 東北で唯一の会社設立

現 在、県内や東北各県、東京の企業を対象に、インターネット上にデータを保管してさまざまなサービスを提供するクラウドという新しい仕組みの導入支援や運用代行を行っています。クラウドに特化して、そのようなサービスをを行う会社は東北で唯一であるという強みを生かし、複数の会社と提携しながら業務に当たっています。

起業時に一番不安だったのが、地元での人脈が乏しいこと。IT業界でも人脈と信用は事業成功の大きなかぎとなるからです。そこで、起業して間もない頃、

県主催の創業・起業支援制度合同説明・相談会に参加し、インキュベーション・マネジャーから親身にアドバイスをいただきました。

また、青森県では他県にさきがけてIT企業同士や他産業との連携の場づくりを推進し、セミナーやマッチングなどの各種支援も行っており、参加したことでも県内のネットワークがさらに広がり、実際に新たな仕事にもつながりました。

両 親が専業農家でにんにくやごぼうなどを作っているのですが、大きさや形などが悪いというだけで廃棄されている規格外の野菜をどうにかしたい。その思いで、ITと農業を結び付け、インキュベーション・マネジャーと相談しながら「ぶさいく

野菜.com」の商標を取得し、インターネットでの販売も行っています。

今でも何か分からなことがある※とインキュベーション・マネジャーに相談しており、とても心強い存在です。

※下部の「用語の解説」をご覧ください。

つながりが生み出す ならでの可能性

今 の私の目標は、現在事業の主体となっているIT/クラウドという新しい産業で地域への貢献や雇用の創出をしていくとともに、祖父の代にゼロから開拓し、父の代で大きく拡大した地域の農業を次の時代にもつなげていくことです。

人、自然や食などの魅力あふれる青森県にはまだまだビジネスの可能性や選択肢がたくさんあると思います。例えば、ITと農業を結び付けたり、都会にはない青森ならではの強みをうまく生かし、人と人、人とモノ・コトがつながることで

もつと青森が面白くなるはずだと思います。面白くしていきたいと思っています。たくさんつながりを生み出しながら、楽しくやりがいのある仕事を作り、自分の生まれ育った地域を子供たちの世代にとつて魅力的な場所にしていくのが、自分の義務だと思っています。



【インタビュー】株式会社ヘプタゴン
代表取締役 **立花 拓也**さん
(三沢市：ホームページアドレス <http://heptagon.co.jp> メールアドレス info@heptagon.co.jp)

安心して子どもを 産み育てられる環境づくり 「子育てに最適の地あおもり」の実現へ

子どもたちは、未来の青森県づくりの原動力であり、その子どもたちを産み、育て、成長させることは、未来を創り上げることです。

県では、結婚や子育てをみんなで支える地域社会づくりに取り組むとともに、次代を担う子どもを心身ともに健やかに産み育てられる環境づくりを進めています。

具体的には、結婚・妊娠・出産・子育てに前向きになれるよう、社会全体で応援する気運を醸成するためのポジティブキャンペーンの実施や、「あおもり出会いサポートセンター」による結婚を希望する独身男女の出会いの場の創出を行っています。妊娠・出産への支援としては、妊産婦への相談支援、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）費の助成、周産期医療体制の充実などを行っています。

また、子育て支援として、多様な働き方に対応した保育サービスや放課後児童対策の充実による仕事と子育ての両立のための基盤整備を進めるほか、「青森県男女共同参画センター」と「青森県子ども家庭支援センター」の複合施設である「アピオあおもり」において、男女共同参画社会と子育て支援社会を実現するため、子どもと家庭に関する相談や学習・体験、子育て支援関係者や団体への活動支援、さらには、子育て応援わくわく店・商店街の登録・普及、親子に優しい街マップによる情報提供なども行っています。

そして県では、子育て支援を強化するため、現在、次世代育成支援行動計画「わくわくあおもり子育てプラン」の改訂を進めているところです。

今後も社会全体で子育てを支え合い、県民の皆さんが安心して結婚し、子どもを産み育てられる「最適の地」青森県を目指し、全力で取り組んでいきます。

【問い合わせ先】
電話 017-734-9301

創業・起業を希望する方を 支援しています!!

人口減少が続く中で、本県の事業所数、従業員数は減少し、地域経済の停滞が叫ばれて久しい状況が続いています。民間活力を高めていくためには、開業率を引き上げ、雇を生み出し、産業の新陳代謝を進めていくことが必要であり、創業・起業の促進は、地域経済の活性化や新たな雇用機会の創出につながる重要な施策です。

このため、県では、市町村や商工団体と連携しながら、創業支援の専門家である「インキュベーション・マネジャー」を県内各地に派遣し、創業実現まで、創業・起業を希望する方を二人三脚できめ細かに支援しています。

また、創業・起業希望者の掘り起こしを目的とした「創業・起業支援制度合同説明・相談会」を県内各地で開催しており、国・県・商工団体等関係機関からの支援制度の説明や、個別相談を実施し、「創業・起業に興味、関心がある方」から「創業・起業して間もない方」まで幅広くご参加いただいているほか、創業・起業意識の醸成とビジネスプラン作成のノウハウ習得を目的とした「あおもり起業家養成研修」の開催や、地域資源を生かした、あおもり発の新たなビジネスでの創業・起業を応援する「ビジネスプランコンテスト」の開催等により、創業・起業を希望する方々を積極的に支援しています。

さらに、今年度からは創業・起業に係る事業を大幅に拡充し、若年者やシニア、Uターン希望者を対象とした創業・起業の意識醸成等にも取り組むなど、創業・起業の促進による地域経済の活性化や新たな雇用機会の創出を通じて、本県の人口減少の克服につながるような仕組みづくりを進めています。

【用語の解説】

※インキュベーション・マネジャーとは、日本ビジネス・インキュベーション協会（一般社団法人JBI）が認定する創業・起業支援の専門家であり、県では、公益財団法人「あおもり産業総合支援センター」に配置している。その他、県内3市青森・弘前・八戸の創業支援拠点等でインキュベーション・マネジャーによる創業・起業支援が受けられる。

【地域産業課】
電話 017-734-9374